

学校だより

学校教育目標 「未来をきりひらこう！ やさしさいっぱい えがお輝くわたしたち」

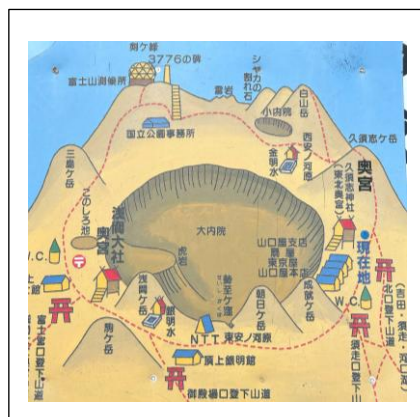
備えあれば

副校長

猛暑、酷暑と暑かった夏も陰りが見え始め、朝晩の涼しい風から、やっと秋の訪れを感じられるようになりました。

私の今年の夏の思い出の中でも日本一の山、富士山登頂は忘れない思い出です。5月の朝会で、「富士山登山に挑戦します。」と全校の皆さんに宣言し、「体調や装備を含めて、そのための準備が大切です。」という話をしました。

7月30日、31日の2日間かけ、8合目に一泊して登ってきました。富士山の高さは3,776mですが、頂上が平らになっているわけではなく、右の図のようにすり鉢状になっています。その縁の部分で一番高い所が最高地点となり、石碑が建っています。そこが日本で一番高い所ということになります。猛暑が続いた今年の夏でも、頂上の気温は一桁になることもあります。頂上にたどり着くまでに、何時間も歩き続けるわけですが、標高が高くなればなるほど酸素が薄くなり、きつくなってきます。風が強かったり、雨が降ったりするとなおさらです。場合によっては、高山病や低体温症など体調を崩してしまい、途中で下山する人もいます。それでも登山してみたいくなるのは、そこでしか見られないような景色や体験があるからかもしれません。



実は、去年も富士山に登っているのですが、下山の時に足を滑らせ左足首の靭帯を断裂してしまいました。だからこそ今年は無事に帰ってくることを目標に登山に臨み、天気にも恵まれ、けがをすることもなく無事に登山を終えることができました。ただ2日間とも天気は良かったのですが、残念ながら日の出は雲が多くて見るできませんでした。満天の星空や日の出を見られなかったことが、また次への意欲となって、富士山に登りたいという気持ちにさせてくれます。

大変な道のりであっても一步一步進んでいけば、たどり着きます。ただそのための準備が必要不可欠となります。登山でも天気の急変に備えて雨具や防寒具が必要です。どんなことが考えられるかを想定して準備することは何事にも当てはまります。

11月14日(土)には、地域の防災拠点訓練があります。戸塚小学校は、大地震の際の地域の避難所となっているので、避難するために必要な食料や用具が学校の防災備蓄庫の中に保管されています。訓練ではその中にある用具を使って、実際に避難することになったときのための練習(準備)をします。近年は台風や大雨による被害も増えています。これまでに経験したことのないような災害が発生しており、今後どこでも起こる可能性があります。家の人が仕事等で外出していて、すぐには帰ってくることができないかもしれません。学校でも避難訓練等を行って、いざという時のための準備をしていますが、ご家庭でも災害時にどんなことが必要なのか考えてみるのもよいかもしれません。

実際に地震や豪雨災害のため避難生活を送っている方々が少しでも早く元の生活に戻れることを願いつつ、自分でもできることはないか考えていきたいと思います。